

共生社会特論2015年度

ロボットと性, ジェンダー

西條玲奈

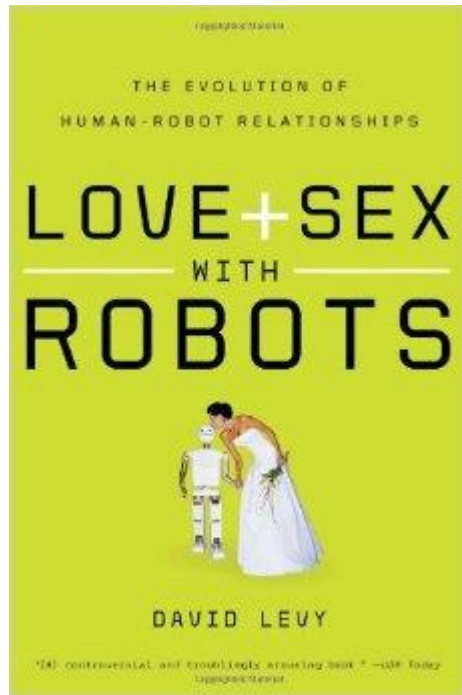
「性愛の対象としてのロボットをめぐる社会状況と倫理的懸念」
（『社会と倫理』，第28号，2013年，37-49）より

西條玲奈「性愛の対象としてのロボットをめぐる社会状況と倫理的懸念」
（『社会と倫理』，第28号，2013年，37-49）

電子レンジや自動ドア、産業ロボットといったものとは異なり、ロボットの中には個人 の生活の中に入り込むだけでなく、ユーザーの親密な感情を引き起こすよう設計されるものがある。

［・・・］そして人が抱く親密さ の中でも、誰かに対する恋愛感情や性的欲求はとりわけ強い情動といえる。［・・・］人がロボットに親密な感情をもつ場合、それは人間や動物を相手とするケースにはない倫理的な 懸念が生じる可能性がありはしないだろうか。（「序」，37）

David Levy, Love and Sex with Robots (Harper Perennial, 2008)



- 人間が他者や他の動物に愛着を持つメカニズムは機械にも拡張可能である.
- 「正常な性」についての社会的な通念は変化している.
- 性に関するテクノロジーはどんどんと進歩している.
- ロボットが当たり前前に性愛の対象となる時代がまもなく到来する.

Yoeman and Mars, ``Robots, men and sex tourism,``
(*Futures*, 44, 2012, 365-71)

- 2050年には人間のセックスワーカーに変わってロボットが性サービスを提供するようになる。
- セックス・ロボットは性労働に関連する社会的問題（セックス・ワーカーの搾取など）、衛生上の問題を解決する。
- セックス・ロボットはより質の高い性サービスを提供する。
- 人間のセックス・ワーカーの仕事が奪われることが問題。

西條（2013）が指摘するありうる倫理的懸念

- 性的逸脱
- まやかしの愛情
- 心理的依存
- 設計者が持つ行動規範の押し付け
- 買売春に関連する問題

最近の議論

The Campaign against Sex Robots



About

Over the last decades, an increasing effort from both academia and industry has gone into the development of sex robots - that is, machines in the form of women or children for use as sex objects, substitutes for human partners or prostituted persons. The Campaign Against Sex Robots highlights that these kinds of robots are potentially harmful and will contribute to inequalities in society. We believe that an organized approach against the development of sex robots is necessary in response to the numerous articles and campaigns that now promote their development without critically examining their potentially detrimental effect on society. As humanoid robots become more widespread it is necessary to develop an engaged ethical response to the development of these new technologies.

The ideas behind the campaign were launched in a paper presented at Ethicomp 2015, and are in summary:

- We believe the development of sex robots further sexually objectifies women and

- セックス・ロボットの開発は女性や子供を性の対象化することを促進する。
- 人間同士の共感は、人間相互の関係を経験することによってのみ発達するのであり、セックス・ロボットはそれを減少させる。
- セックス・ロボットは社会の力関係をより強化し、不平等や暴力を増大させる。
- テクノロジーが性産業に従事する人間への搾取と暴力を減少させるという意見に対しては、それと反対の証拠がある。

<https://campaignagainstsexrobots.wordpress.com/about/>

`` In Defence of Sex Machines: Why Trying to Ban Sex Robots is Wrong''

- 現存するジェンダー・バイアス，性的偏見を未来のテクノロジーに持ち込むことは避けるべきだが，確立した過度の慎み（prudishness）を持ち込むことにも慎重であるべきだ。
- セックス・ロボット禁止キャンペーンは，ロボットに性別を与えることに反対しているが，それはロボットの性を政治問題にしてしまうというコストを伴う。
- ロボットは性的同一性の新しい可能性を探求する中立的な土台であり，また心理セラピーにも利用できる。